



年頭の御挨拶

辰巳会会長 鈴木治雄

新年明けましておめでとうございます。

平成七年一月に発生しました阪神淡路大地震から十年の歳月が経ちますが、昨年九月には同地震に匹敵する新潟中越地震が発生し、多くの住民が被災され、厳しい寒さの中で避難生活を余儀なくされています。また、台風が過去に例のない本土上陸により、多大な被害と人命を奪いました。

このように、昨年は地球の異状を感じさせるほどに、災害が多かった年であったように思います。

毎年、新しい年を迎えれば、世界が静かで平和な年の明けになるように願っていますが、どうしてどうして、世界全体が騒然とした方向にどんどん進んでいるように思えます。このような状態になるのは、世界において人間の尊さの教育が低下し、物事に対する考え

方が甘くなり、時代の歴史を顧みないで、その時々を無責任に過ごす人々が増えてきているのではないかと考えますが、皆様はどのようにお思いになりますか。責任力の低下が国際政治に大きな変化をもたらし、世界の国それぞれが自国の立場を主とした政策に終始してきた結果が昨今の世界の姿だと思えます。

辰巳会は、今年で発足以来四十五年を迎えます。旧鈴木商店に直接ゆかりのあった会員の多くは故人になられていますが、企業並び個人のご縁のある皆様により継続しています。本会は、先人の遺業を後世に伝え、守ることの意義を大切にして続けていこうと思えます。

今年が皆様にとって良い年であり、ご健勝で過ごされますことを祈念しまして、年頭のご挨拶といたします。

全国大会報告

平成十六年五月二十日(木) / 於：神戸ハーバーランドニューオータニ

今年の会場は、JR神戸駅南側一帯が神戸ハーバー

ランドと云われ、商業施設ビルが立ち並ぶ中にあります。

神戸ハーバーランドは、おしゃれな港町の雰囲気があり

大型ショップが多数並ぶショッピングエリアです。また、

ハーバーランドの対岸は、港神戸のシンボルの一つであ

る神戸ポートタワーがあるメリケンパークになり、休日

ともなると神戸遊覧で賑わう観光スポットです。

大会は、天候にも恵まれ、安東幹事長の開会の辞で始

まり、幹事長より五月七日に祥龍寺において、幹事一同

が出席して物故者法要が行われ、過去帳に二二〇一名が

記帳されたことが報告されました。また、辰巳会の協賛

会社であります日商岩井が、四月にニチメンとの統合に

より双日株式会社として新生スタートされたことのお話

しがありました。

引き続き、鈴木会長のご挨拶があり、会長からは世界

情勢、特にイラク情勢に見られるように国際秩序が混沌

としていること、国内においても社会秩序の乱れの現れ

を憂慮されること。辰巳会について、この大会の出席者

は百数十名のこともありましたが、今の数十名の出席者

あっても、これからも続けていく力強いお話がありま

した。

次に、松下幹事の会務報告に入りましたが、開会の辞

で安東幹事長より報告されたこともあって、特に報告さ

れることありませんでした。ご自身の健康のことから、

ここのところ体調を少し崩されていることで、皆さんの

健康に留意されますことのお話でした。

今年も横田元幹事長の発声により乾杯して、会食に入る。

和やかな宴も進み、最初のスピーチを神戸製鋼所元社長、会長をされ、神戸商工会議所会頭を歴任されました牧冬彦さんがされました。牧さんのお話は、今は合併されている山下汽船の山下さんの回顧録から大正七年頃のことので起業家金子直吉さんと山下さんとのやりとりの逸話を楽しくご披露されました。続いて安東幹事長が再登場され、昨今若者が新聞を読まなくなり、週刊誌や漫画になっっていることなど、また、大塚融さんは東京青山墓地に当時の政財界の方々と一緒に金子直吉翁の名が刻まれている興味あるお話がありました。この後、池田泰雄さん、須藤欽吾さんのお話があつて、盛り沢山のスピーチになりました。

歓談も尽きない中で終わりの時間となり、楠瀬幹事より閉会を述べられ、記念写真の撮影のあと散会となりました。

平成十六年度 全国大会式次第

平成十六年五月二十日(木)
神戸ハーバーランドニューオータニ
五階 舞の間

司会進行役 柳田 本部幹事

- 一、開会の辞 安東 幹事長
- 一、会長挨拶 鈴木 会長
- 一、会務報告 松下 幹事
- 宴
- 一、乾杯
- テーブルスピーチ
- 一、閉会の辞 楠瀬 本部幹事

以上

平成十六年度 全国大会御出席者名簿

(敬称略)

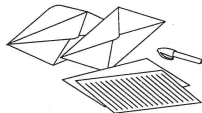
平成十六年五月二十日(木)
神戸ハーバーランドニューオータニ
五階 舞の間

- | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---------|----------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| 金子 峻 | 金子 ソメエ | 金子 孝蔵 | 金子 貞二 | 小原 秀吉 | 大塚 融 | 大谷 淳子 | 大谷 一二 | 今村 三郎 | 池田 泰雄 | 安東 恒子 | 安東 浄 |
| 松 下 重 男 | 牧 冬 彦 | 福 井 崇 子 | 坂 東 み どり | 西 川 明 子 | 月 岡 定 康 | 高 畑 美 紀 | 高 畑 宗 一 | 鈴 木 治 雄 | 須 藤 欽 吾 | 楠 瀬 正 明 | 東 條 佳 子 |
| 以上 三十三名 | 中 谷 尚 美 | 金 野 和 夫 | (事務局) | 横 田 よ し こ | 横 田 | 横 田 周 作 | 柳 田 辰 巳 | 森 泰 助 | 森 美 子 | 宮 永 悠 紀 雄 | 間 室 四 郎 |



全国大会 会食の風景

辰巳会 だより



本部 新年例会

平成十六年度 新年例会御出席者名簿

平成十六年一月十九日(月)
神戸三宮「第一楼」
(敬称略)

浅田 四郎	須藤 欽吾
安東 恒子	高畑 宗一
安東 文雄	高畑 美紀
飯田 延子	坂東 みどり
王 鞍子	武藤 秋
大谷 淳子	松 下重男
大塚 英美	宮 永悠紀雄
小野 晶子	柳 田辰巳
小原 秀吉	(事務局)
金子 孝蔵	(事務局)
金子 ソメエ	中谷 尚美
楠瀬 正明	以上二十五名
鈴木 治雄	



平成十六年一月十九日今年の本部新年例会は、毎年恒例の神戸三宮の「第一楼」三階にて開かれました。

鈴木会長のご挨拶では、「成人の日に新成人が一部にしろ暴れた事は嘆かわしい、もっと教育をよくしなければ」と将来の憂いを語られました。

また今年初参加の飯田文雄様・浅田四郎様・間室四郎様の三方で大いに辰巳会を若返らせて戴きました。

宮永悠紀雄様のご発声で

宴会が始り、神戸大学法学部教授 飯田文雄様・文学部講師大塚融様・須藤欽吾様のそれぞれ異なった立場のスピーチを戴き、安東幹事長の永田町辺りの噂話にも聞耳を立て、金子孝蔵様の小唄・浅田四郎様の謡曲に場内うっとりとき和みました。

お蔭様で会場和気藹々の中で、予定の時間もあつと言う間に過ぎ、次の全国大会での再会を約束しての散会と成りました。

本部 秋季例会

今年の秋季例会は、十月二十日の開催でしたが台風の襲来により、急遽、順延されたことは過去に例が無いように思います。急な変更もあつて、出席数が少なくなり、少しさびしい例会になりました。

会場の舞子ビラは、明石海峡大橋が目の前に見え、青い海の向こうには淡路島が眺望できる高台にあり、この日は晴天に恵まれて爽



やかな一日でした。
JR舞子駅に出席の皆さんが集まり、ホテルの送迎バスで舞子ビラに到着。今回の例会は、鈴木会長が体調不良により欠席されるなかでの開催になりました。会長は数日後には回復され安堵の思い。
正午、柳田幹事の司会により始まり、会長欠席のため安東幹事長の挨拶で、今年を振り返っての話し、会員入会についての話がりました。
小原秀吉さんの音頭で乾杯し、

会食になる。安東幹事長のスピー

チで「笑い」について、一同の笑いを誘う話となり、笑顔のなかで会食が進みました。

恒例になっています金子孝蔵さんの変わらない美声の小唄を聞き、しばらくの歓談のあと、例会は終わる。記念写真は、チャペルのある庭に出て、明石海峡大橋を背景に撮影。帰路もホテルの送迎バスで、再びJR舞子駅に向かう。

平成十六年度

秋季例会御出席者名簿

平成十六年十一月二日(月)
シーサイドホテル舞子ビラ神戸
別館会場「大蔵」
(敬称略)

安東 浄	高畑 美紀
安東 恒子	坂東 みどり
今村 三郎	松下 重男
小野 晶子	宮 永悠紀雄
小原 秀吉	柳 田辰巳
金子 孝蔵	(事務局)
金子 ソメエ	(事務局)
楠瀬 正明	中谷 尚美
高畑 宗一	以上十六名

東京支部 新年例会

今年の元旦、関東地方は上天気にお恵まれ、見事な初日の出を拝むことができました。こんな年は何となくよいことがありそうです。最も懸念されていたイラク戦争が短期間で終わり、また経済面でも米国、中国はじめアジアに加えロシア、印度やブラジルまで調子がよいと伝えられます。長らく低迷した日本もやっと不況を脱出できそうということもあつて、昨今の今ごろに比べると随分明るさが増しています。然し一方では、戦後初めて自衛隊を復興支援のためとはいえ、イラクの未だゲリラとの戦闘が終息していない地域に派遣することになりました。これを機に憲法改正論議もにわかに活発になってきております。

日本に経済一辺倒はもう許されないことなのでしょうが、何年か後になって振り返ってみると今年が重大なターニングポイントだつ

たということになるかも知れません。

今年の新年例会は昨年と同じJR東京駅構内にある東京ステーションホテルの「松の間」を会場として一月二十二日に行われました。大きなシャンデリアが明るく照らす大広間には、いつものようにカネ辰の暖簾が飾られていました。定刻には全員がお揃いになり、まず支部長の荒木正雄様が開会のご挨拶に立たれ、日ごろの会員の協力に感謝の言葉のあと、昭和二年の金融恐慌に端を発する辰巳会の長い歴史のなかに今年には日商岩井とニチメンとの合併が書き加えられることなど述べられたあと、会員の方々のご健勝を祈ると結ばれました。

続いて幹事より風邪などのため三名の方々がやむを得ず急遽欠席となったと報告がありました。次いで住田正二様がお立ちになり、このホテルは鈴木商店とご縁のあった所で、またご自身のご勤務先JRの子会社でもあり、ここで辰巳



会が開かれるのをうれしく思うこと、またお父上が鈴木商店の神戸出張の際は必ずここにお泊りになり、そのルームナンバーが一〇一だったことがお母上への何通もの書簡から分かるのだが、それが今のどの部屋かがはつきりしない、戦災とその後の改装で当時とは随分変わっているようなどお話しされたあと、乾杯のご発声をなさいました。
後は食事をいただきながらの歓

談となりました。いつもそうなるのですが、日本の直面している問題が次々にとりあげられ、経験に照らして皆さんが率直に意見を述べられますので、内容は極めて濃いものとなります。その幾つかはイラクへの自衛隊派遣の問題、国家への忠誠の問題、財政赤字と道路郵政の民営化の問題、地方空港建設の問題、日本の技術水準の高さ、航空機部品輸出や海外の新幹線建設に対する技術援助についてでした。

瞬く間に予定の時間となりましたので、暖簾の前に席を移し、記念撮影となりました。

幹事から例年通り帝人様および日本発条様からそれぞれ記念品をいただいていること及び日商岩井から今年も協賛金五万円の提供があったことが披露された後、幹事長の安東 浄様がお立ちになり「高齢の方が多いので、健康には十二分の注意を払われて次回も是非お元気でご参加下さいませよう」とユーモアたっぷりに閉会のご挨拶となりました。

早いもので、今年も半分が過ぎてしまいました。

その間、世間でいろいろのことがありました。辰巳会の関連では何ととっても双日株式会社誕生でしょう。昨年、日商岩井とニチメンとは経営体質の強化を目的に統合することに合意し、ニチメ

拶をなさいました。一同、福砂屋のカステラと記念の二つの御品がつめ合わされた大きな袋をいただき散会となりました。

平成十六年度 東京支部 新年例会御出席者名簿	
荒木正雄 住田正二 安東 浄 西川明子 武岡輝彦 森美子 木村隆昭 池田宗吉 安武史郎 荒木義弘	平成十六年一月二十二日(木) 東京ステーションホテル (順不同・敬称略)
以上十名	

東京支部 春の例会

本から独立したのは、昭和二年の鈴木破綻によるものであったが、その主因は主力銀行(台湾銀行)からの借入れが昭和の金融恐慌という異変のためうまく行かなくなったことであり、最近の経済界の情勢とよく似ている。いつも過去の歴史に学ぶ心構えが大切と述べられたのを受けて、澤田様は「自身の経験からも銀行対策は最も難しい課題であるが、要はできるだけ銀行に頼らないで自立した経営を目指すことであろうとおっしゃいました。また澤田様は既に米国とタイにおいてそれぞれ二社の関連会社を持っているが、最近、戦前工場のあった中国の上海で製粉工場を建て、また心配の種を作った。経営者というものはいつも心配事が絶えないものだとしても絶えず笑みを浮かべながらおっしゃいました。

安東様が神戸空港の建設を例にとられ、日本はいろいろなところで無駄が多過ぎる、もっと地道な考えに立たなければいけない、経

ン・日商岩井ホールディングスという持株会社を設立し、その下で両社ならびにそれぞれの会社が持つ事業のリストラが進められてきました。この四月一日付けでこの二商社が完全に合併し、名称も新たに双日として新発足しました。同日の主要全国紙には「イノベーション商社 双日」の誕生を謳う一面公告が見られました。昭和二年以来、鈴木商店を継いで連綿として続いてきた総合商社日商の名が消えるのは誠に寂しい限りですが、この上は新生双日のこれからのご発展を祈るばかりです。

今年の東京支部春の例会は六月三日正午から東京千代田区にある「ざくろ京橋店」で開催されました。「ざくろ」はJR東京駅八重洲中央口から徒歩五分程度という交通至便のところにあり、当日は梅雨間じかとは思えない上天気でした。ご常連の数名の方がご欠席となり、ご参加は十一名でしたが、定刻には皆様のお顔が揃い、開会となりました。

団連などがもっと強い指導性を持つべきではないかと問題提起されたのに対し、澤田様はこの間海外の友人から「しばらく前までは、日本についてわからない事があれば、政治については自民党、経済については経団連に問い合わせれば答えが得られたのに、今やどこに聞けばよいかさっぱり分からなくなった」といわれた。これは日本の産業が重厚長大主導からIT、ソフトなど新分野が広がって急激に多様化しつつあり、経団連が仕切れる時代ではなくなっていることを示している。よくいわれる自己責任の時代になったとお応えになった。

このように、皆様からいろいろ有益なお話をうかがっている間に予定の二時間は瞬間に過ぎ、安東様が閉会のご挨拶をなさいました。お土産に「ざくろ」の調味料セットを頂戴し、この秋の例会での再会を約して散会となりました。(Y・A記)

まず支部長の荒木様がお立ちになり、会員皆様の日ごろ辰巳会へのご協力に謝辞を述べられ、次いで双日発足の経緯と概要などに触れられた後、今回初参加の日本製粉株式会社代表取締役会長 澤田浩様をご紹介になりました。続いて幹事長の安東様から本部の活動として五月に神戸において物故者の法要と全国大会が無事行われたことなどについてご報告がありました。

引き続き、澤田様がお立ちになり、次のようにご挨拶されました。「今回初参加ですが、実は辰巳会にはご縁があり、予てより出席したいと思っていました。個人的には当会支部長の荒木様とは中学(府立一中)、大学(一橋大)の先輩後輩の間柄で、共通の恩師、学友を持ち、たいへん親しいお付き合いがあります。日本製粉は創業一三〇年になる日本最古参の会社ですが、その前身が大正九年に鈴木商店の下、門司で操業していた大里製粉という会社と合併し、七年

平成十六年度 東京支部 春の例会御出席者名簿	
澤田浩 移川京子 池田宗吉 安東 浄 荒木正雄 森美子 西川明子 長橋 忠男 木村隆昭 荒木義弘 武岡輝彦	平成十六年六月三日(木) ざくろ京橋店 (順不同・敬称略)
以上十一名	

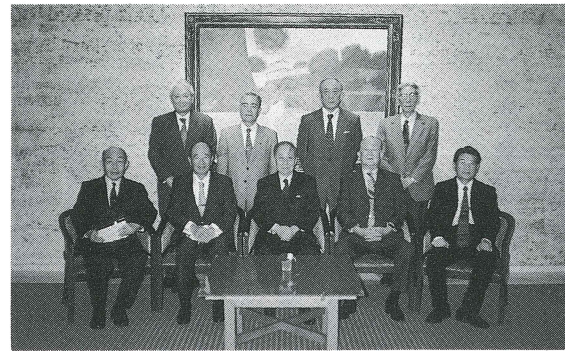
東京支部 秋の例会

超大型台風二十三号が関東を襲った翌日十月二十一日(木)東京支部秋の例会が開催されました。

当日未明には東海上に抜けたもののまだ風も残り小雨がパラつくという天気。記録的な今年十個目の台風で人命を含め甚大な被害をもたらしました。世界も依然としてあちこちで緊張、混迷が続き明るいニュースがありません。早く平和で平穏な地球にならぬものかと思えます。

辰巳会開催年表

年月日	曜日	開催場所	時間	出席者人数	会費	摘要
昭35.10.7	金	神戸 国際ホテル	11:00 A.M	162	1,000	発会式
11.2	水	大阪 新大阪グランド	11:30 A.M	92	500	
12.2	金	神戸 神 仙 閣	11:30 A.M	91	500	忘年会
36.1.12	木	大阪 北 京	11:10 A.M	100	500	
4.3	月	神戸 オリエンタルホテル	11:00 A.M	130	1,500	東西合同
6.2	金	大阪 北 京	11:30 A.M	76	500	
10.2	月	神戸 神 仙 閣	11:30 A.M	76	500	
12.4	月	大阪 北 京	11:30 A.M	109	500	忘年会
37.1.22	月	神戸 神 仙 閣	11:30 A.M	67	800	
4.2	月	京都 何 有 荘	10:00 A.M	305	1,500	大会
7.2	月	大阪 北 京		74	800	
9.13	木	神戸 摩耶観光ホテル	5:00 P.M	133	1,300	観月会
12.4	火	大阪 太 閣 園	11:00 A.M	122	1,000	
38.3.14	木	神戸 田宮記念館	11:30 A.M	113	700	
5.13	月	有馬 有馬グランドホテル	3:00 P.M	128	3,000	大会
〃	〃	〃	〃	〃	2,000	
〃	〃	〃	〃	〃	6,000	
〃	〃	〃	〃	〃	4,000	
9.18	水	大阪 東 天 閣	11:00 A.M	89	800	
12.5	木	神戸 三 ツ 輪	5:00 P.M	63	1,500	忘年会
39.2.27	木	神戸 オリエンタルホテル	11:30 A.M	154	1,000	金子翁20年祭
5.6	水	神戸 オリエンタルホテル	10:30 A.M	163	1,000	よね刀自法要
9.21	月	神戸 舞子ヴィラ	5:00 P.M	111	1,000	観月会
11.18	水	大阪 東 天 閣	11:00 A.M	91	700	忘年会
40.1.14	木	神戸 オリエンタルホテル	11:30 A.M	118	1,000	新年会
4.2	木	神戸 江口ホール	10:30 A.M	66	600	阪神合同受賞者
6.29	火	東京 クラブ 関 東	6:00 P.M	85	1,500	祝典会
9.10	金	大阪 レストランスカイ	10:00 A.M	27	800	例会会
12.10	火	神戸 江口ホール	10:00 A.M	79	1,000	忘年会
41.5.10	火	京都 天 竜 寺	11:00 A.M	175	1,500	大会
42.1.26	木	大阪 ロイヤルホテル	11:00 A.M	108	1,500	新年例会
4.5	水	神戸 祥龍寺・相楽園		204	1,500	法要
10.14	土	神戸 い ろ り や	11:00 A.M	49	1,000	
43.1.26	金	大阪 ロイヤルホテル	11:00 A.M	83	1,500	新年会
4.2	火	神戸 祥龍寺・オリエンタルホテル	2:00 A.M	230	1,500	新供養塔除幕
10.7	月	神戸 北野クラブ	5:00 P.M	61	1,500	観月会
44.1.21	火	大阪 北 京	11:00 A.M	74	1,000	新年会
4.4	金	神戸 祥龍寺・六甲	2:00 P.M	155	1,500	全国大会
10.15	水	京都 迎 賓 閣	11:00 A.M	118	1,500	例会
45.1.21	水	大阪 東 洋 ホテル	11:00 A.M	90	1,500	新年会
5.7	水	奈良 依 水 園	11:00 A.M	245	1,500	10周年記念大会
10.14	水	名古屋 犬 山 ホテル	11:00 A.M	80	1,500	よね刀自法要
46.1.22	金	神戸 貿易センタービル24階	11:00 A.M	79	1,500	東・本・部合同大会
5.2	水	比叡山 観光ホテル		163	1,500	新年会
10.13	水	箕面 観光ホテル	11:00 A.M	89	1,500	全国大会
47.1.21	金	神戸 ニューポートホテル	11:00 A.M	70	1,500	例会
5.11	木	京都 国際ホテル	11:00 A.M	138	2,000	新年会
10.12	木	宝塚 売 布 松 楓 閣	11:00 A.M	97	2,000	全国大会
48.1.23	火	宝塚 ホテル	11:00 A.M	84	2,000	例会
5.17	木	京都 白 沙 村 荘	11:00 A.M	202	2,000	新年会



さて、この日の会場は二重橋前、皇居のお濠と緑を間近に臨む格調高い東京会館の二階、フランス料理レストラン「プルニエ」。正午前全員のお顔が揃ったところで同店人口脇で記念撮影の後一番奥まった落ち着いた静かなテーブルに案内され着席。

荒木（義）幹事の司会で開会。常連の方数名が不参加で十一名の参加予定のところ台風直後の天気により、西川明子様、森美子様にご欠席となり九名、初め

ての男性のみの集りとなりました。初めてご参加の森本雄三様の紹介があり、荒木支部長のご挨拶のあと、武岡様のご発声で乾杯をして宴に入りました。

料理が運ばれ、お酒が酌み交わされはじめる中、森本様（元日本エアプレーキル現ナブコ役員）の自己紹介があり、父上準一様の思い出話などを話されました。

父上準一様は台湾銀行から大正十二年に鈴木商店に入られ、鈴木商店破綻後神戸製鋼に移られ、その後播磨造船会長、日本エアプレーキ社長等をつとめられた方で金子直吉翁とはよくご一緒され交流をもたれておられたそうです。

お店自慢の料理をいただきながら、いつものように国内政治、世界情勢、社会情勢などいろいろ話が弾みました。話も尽きぬままデザートが運ばれ午後二時近くお開きとなり、東京会館のクッキーをお土産にいただき、それぞれ帰途につきました。

平成十六年度
東京支部 秋の例会御出席者名簿
平成十六年十月二十一日(木)
東京会館内レストラン「プルニエ」
(順不同・敬称略)

武岡輝彦	木村隆昭	池田宗吉	住田正二	荒木正雄
		荒長橋忠男	森本雄三	
以上九名				

なお森本雄三様より辰巳会東京支部例会御出席者様とわざわざ表記印刷された父上準一様の随想「私の駆け出し時代」(日刊工業新聞掲載)、「金子直吉翁を語る」(講演記録)を複製、印刷、製本された冊子を全員に頂戴しました。知らなかった直吉翁の側面など興味深く拝見させていただきました。有難うございました。

物 故 者 名 簿

「たつみ67号」以降

御 芳 名	死 亡 年 月 日	享 年	職 歴
小 川 謙 二 郎	平成16年 4 月 12 日	80才	羽幌炭鉱鐵道